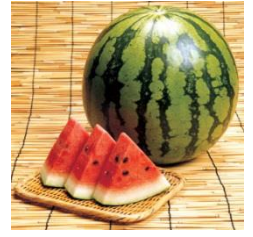


南三陸 復興まちづくり通信

第49号（平成30年7月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。

寄木漁港の海岸防潮堤復旧工事説明会

歌津地区寄木漁港の海岸防潮堤災害復旧工事説明会が4月26日、寄木地区集会所で開かれました。住民およそ30人が出席し、役場建設課と工事を施工する山庄建設株式会社の担当者から工事内容の説明を受けました。防潮堤の築堤は2ヶ所で、延べ149.7m。護岸復旧が45.1mです。このほか水門工、陸閘工が各1、河川改修工が延長93.3m、水産関係用地整備工事（アスファルト舗装）1,700㎡などとなっています。工事着手は5月11日の予定で、平成31年12月20日の完成が見込まれています。

寄木漁港工事写真



（寄木漁港工事写真＝説明会時の配布資料より）



戸倉団地で「はつらつシニアクッキング」

戸倉地区防災集団移転団地の集会所で5月18日、食育をテーマにした「はつらつシニアクッキング」が開かれました。役場の管理栄養士とヘルスメイトが講師を務め、同団地の住民と隣接する戸倉復興公営住宅の入居者18人が参加しました。講話でバランスの良い食事といつまでも自分で動ける身体づくりについて聴いた後、「鶏肉の照り煮」「彩り野菜のゆかり和え」など4品に挑戦。みんなで試食会をしました。

公営住宅入居者が小学生とサツマイモの苗植え

志津川中央復興公営住宅（147戸）の入居者らで組織する「なかよし会」のメンバー15人が5月22日、志津川小学校の児童とサツマイモの苗植えをしました。この日は、住宅に隣接する畑に志小の1、2年生およそ60人が集合。メンバーやJA南三陸の職員の手ほどきで、「サツマイモさん、大きくなーれ」と言いながら苗300本を植えました。10月中旬に収穫祭をして、みんなで焼き芋などを味わうことにしています。



楽団ひとりさんの出前音学会で楽しく交流！

志津川西復興住宅第1集会所で5月24日、楽団ひとりさんの「音学会」が開かれ、入居者ら20人が楽しいひと時を過ごしました。楽団ひとりさんは、アルトサクソやテナーサクソ、フルートなどを奏で、軽妙なトークを交えながら「サントワマミー」や橋幸男の「潮来傘」など15曲を演奏しました。三波春夫の「チャンチキおけさ」では美声を披露し、観客席も手拍子や合唱で応え、大いに盛り上がりました。



高台移転みねはた団地で草刈り共同作業

歌津地区の高台移転「みねはた団地」で6月17日、草刈り作業が行われました。早朝6時から始まった作業には入居40世帯から41人が参加。国道45号から団地までの取り付け道路や団地内の道路脇の草刈り、5月にみんなで植えた花壇の雑草取りなどに汗を流しました。終了後にはお茶会も行われ、和やかに交流を深めました。この取り組みには、県の地域コミュニティ再生支援事業補助金が活用されました。



復興みなさん会が社員総会

一般社団法人復興みなさん会の定時社員総会が6月24日、志津川の上山八幡宮社務所で開催されました。総会には、社員7名のうち6名が出席。平成29年度の活動報告と決算が承認され、30年度の活動計画と収支予算を決定したほか、監事に小野寺寛氏が就任する役員人事案が承認されました。

総会後に開かれた理事会で

代表の選定が行われ、後藤一磨代表の留任が決定しました。

昨年度当会では、公益財団法人トヨタ財団、公益財団法人大阪コミュニティ財団からの助成を受けて活動を行いました。今年度は以下の3つの助成金をいただき、コミュニティ再生に向けた活動を継続します。

- ・東日本大震災現地NPO 応援基金 (JTNPO 応援プロジェクト)

- ・みやぎ地域復興支援助成金 (宮城県地域復興支援課)
- ・おらほのまちづくり支援事業補助金 (南三陸町企画課)



(定時総会後の理事会の様子)

【通信閉話】

大阪で大地震が発生した。震度六弱、七年前の大震災での南三陸町の揺れと同じだ。五人の犠牲者が出た。いずれも地震の倒壊物に巻き込まれた圧死だ。小学四年生の女兒の場合、学校のプールサイドのブロック塀の下敷きになったもので、痛ましい。危険なブロック塀は宮城県沖地震での被害を受け、県内では少なくなっているが、関西では多く残っていたようだ。

人は何故塀を作るのだろう。東日本大震災の被災地では、個人情報保護法という法律の壁が、コミュニティ再生の邪魔をしている。壁や塀をつくらずとも安心して暮らせる社会の実現が望まれる。